

2 学年だより

夢の宅配便

2 年学年主任

水野 喜代治

昭和の日

明日は「昭和の日」で祝日です。この日はもともとは昭和天皇の誕生日を祝う祝日です。平成天皇の誕生日は12月23日で、この日は天皇誕生日で祝日でした。現在は、令和天皇の誕生日が2月23日で、その日が天皇誕生日です。天皇の誕生日は、その天皇が在位している間の祝日であり、天皇の位を降りと祝日ではなくなります。しかし昭和天皇の天皇誕生日は崩御した後もみどりの日、そして、昭和の日の祝日として残りました。なぜ、昭和天皇の天皇誕生日は特別に昭和の日として残されたのでしょうか？

4月29日は「昭和の日」として、昭和天皇のもとで起きた太平洋戦争の悲惨さと戦後の復興を果たしたエネルギーを忘れないように引き続き祝日にしました。太平洋戦争でアメリカ軍の空爆を受けて、日本の各都市は焼け野原にされてしまいました。戦後に日本が経済復興と民主政治を手に入れた背景には、日本国憲法の制定があると思います。戦争中は陸軍、海軍を中心とする軍事政権に国民一人ひとりの人権は著しく奪われていました。1947年5月3日に新しい日本国憲法が制定されました。この憲法で、二度と国家が国民の人権を奪わないことが保障されました。

一人ひとりの個性が尊重され、自由に表現ができる社会は、太平洋戦争の悲劇を通して手にしたものなのです。5月3日は憲法記念日です。昭和の日と憲法記念日に85歳以上のおじいさんやおばあさんがいたら、戦争の悲劇や日本国憲法が制定されたときの気持ちを聞いてみたら良いと思います。激動の昭和の苦しみと喜びの貴重な話を聞けるとと思います。

鎌倉その4

日本の食文化にお茶は深く浸透しています。多くの家庭で、食事の時に茶を飲むと思います。また、お客さんが見えたときなどお茶を出してもてなすのも日本ではよくある接待となります。お茶は鎌倉時代に禅宗の僧侶たちが飲み始めて広がっていききました。このお茶による接待を完成させたのが戦国時代の商人である千利休です。利休は茶の湯を完成させ、茶室での接待によってお互いの心の交流を行いました。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康などすべての戦国大名が茶の湯にとりつかれました。鎌倉は、執権北条氏が禅宗を幕府公認の仏教としたので、禅宗の寺院が多いです。建長寺、円覚寺、東慶寺などで座禅体験やお茶を飲めたりします。クロームブックで検索して鎌倉遠足で体験学習を受けるのもおすすめです。特に東慶寺の茶室での体験はとてすてきなものになると思います。興味のある人は申し出てください。

